

施工段階		地業・土工事		2	設備工事： 接地工事	シート番号 2-1
電気	空調	衛生	その他			
○	-	-	-			

ポイント

■接地工事実施場所の適切な選定

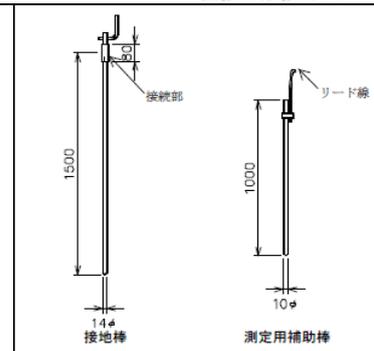
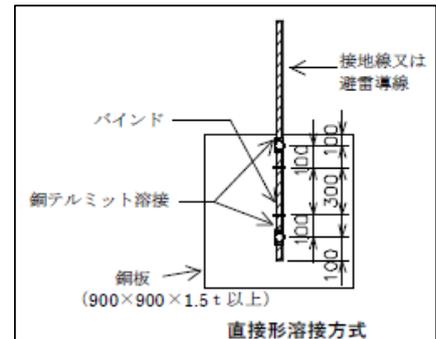
- ・接地極を施工する十分なスペースがあるか確認します。
- ・敷地に余裕がない場合は建物基礎の下となる場合があります。

■接地工事実施工程の適切な設定

- ・施工時期は建築全体工程で確認します。

■必要な接地抵抗値を得る施工方法を検討

- ・大地抵抗率の測定が要求されていないか確認が必要です。
- ・大地抵抗率の高い地盤（岩盤など）の場合、工法等の検討が必要になる場合があります。



接地極の種類

先輩アドバイス

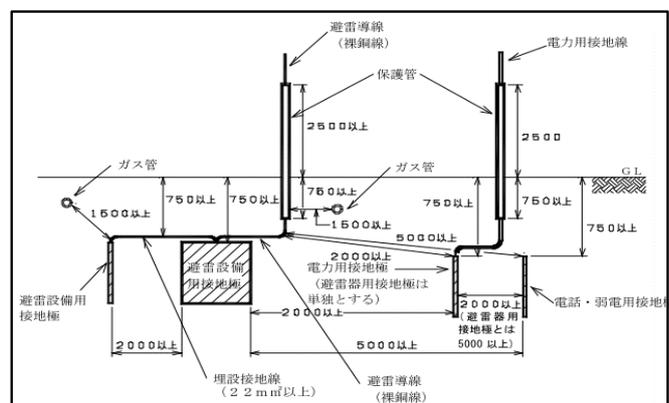
- ・接地工事には電力用、避雷用、弱電用、医療用などがあり、各々に接地抵抗値の基準があります。また接地極同士や他の設備との離隔距離にも注意が必要です。

チェック項目

- 接地極の種類、サイズは明確ですか。
 - ・EA、EB、EC、ED、避雷用、弱電用、医療用、特殊設備用他。
- 各接地極の設置間隔、設置深さに問題ありませんか。
 - ・EA～EB 5m、EB～EC,D 5m、EP迄10m、EP～EC10mなど。
 - ・引込口、建物引き入れ部など設置箇所確認。
- 必要な接地抵抗が得られない場合の対策は検討されていますか。
 - ・接地抵抗低減材、接地極増打ち。
- 接地線の外壁貫通部の施工方法に防水上の問題はありますか。

失敗すると...

- ・早期に計画を検討しないと施工のタイミングがなくなったり接地極を敷設するスペースがなくなる恐れがあります。



異なる接地極の離隔

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
		○	-	○	○	-	-	○	-
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂	2023年3月1日	